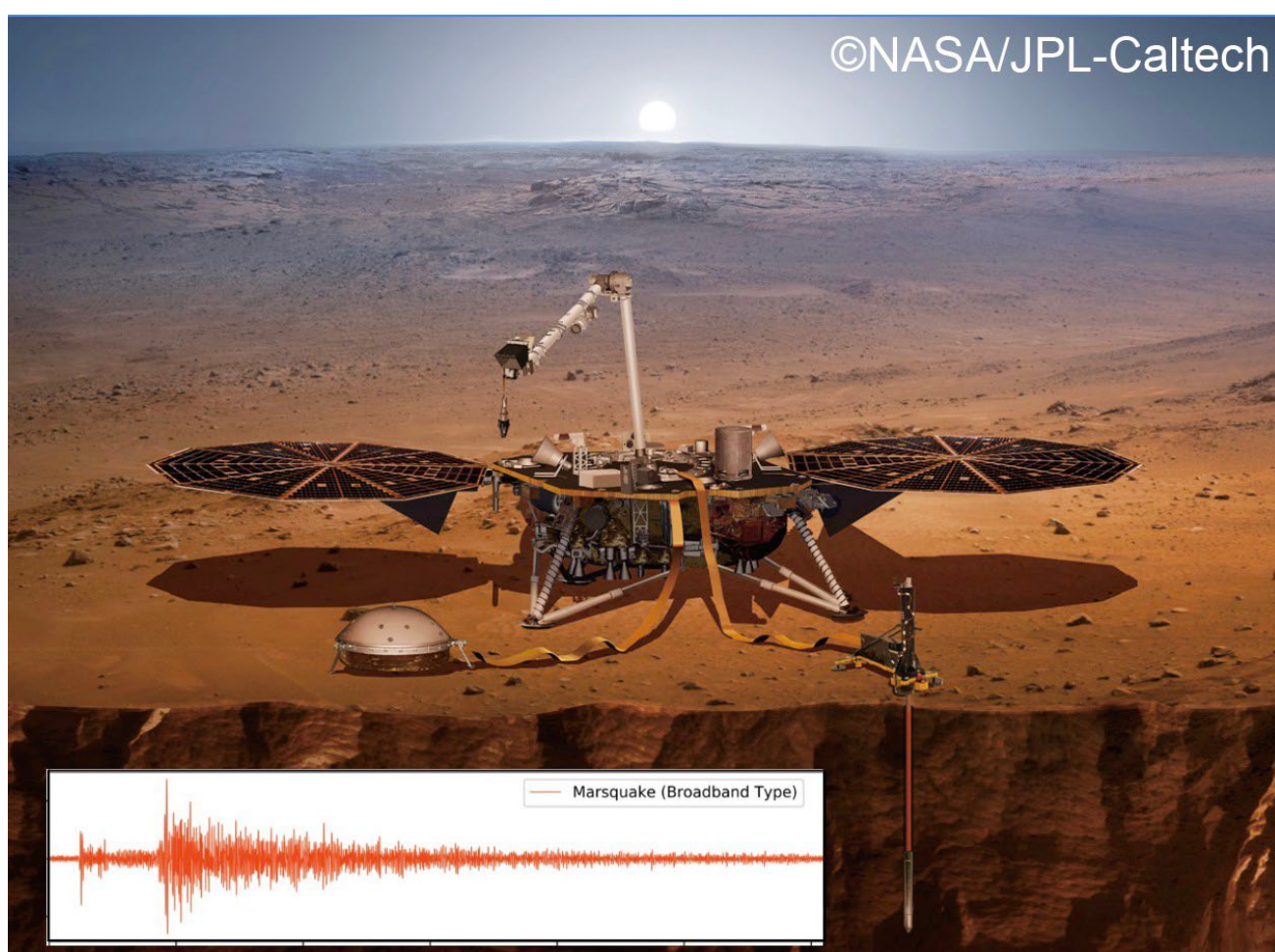


第205回 深田研談話会

深田地質研究所では、「地質学およびその関連分野における先端的研究者と、地質・地質工学関係の、特に若手技術者との相互交流の場を設け、交流を通して応用地質学の実践と技術の向上を図る」ことを目的として、「深田研談話会」を開催しております。

月面探査など宇宙開発 に向けた物理探査技術

辻 健氏 東京大学大学院
工学系研究科 教授

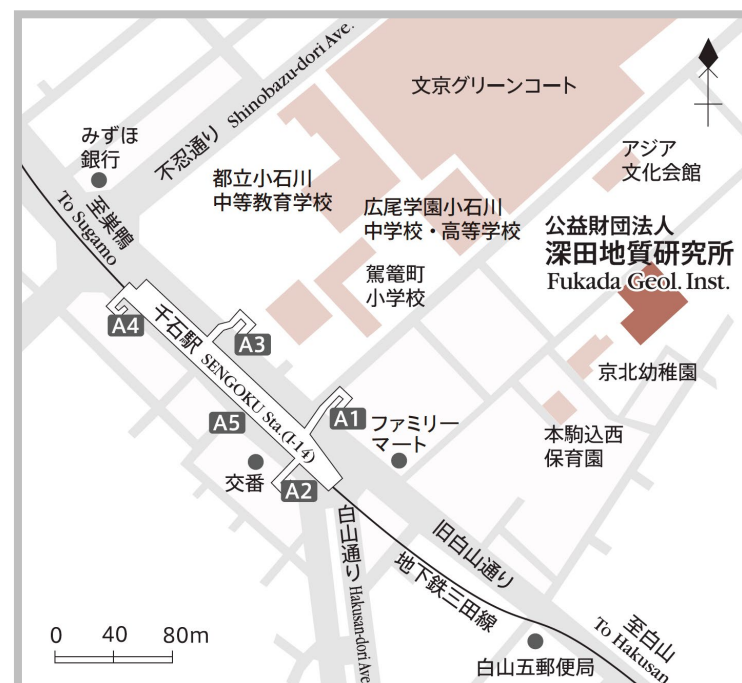


地震計を設置した火星着陸機と火星で記録された地震（火震）の波形

講演概要 地球外の日体で地震探査を実施し、地下構造を調べることは、理学と工学の多くの目的で必要とされている。例えば工学分野では、浅部地盤の情報が宇宙資源探査や構造物の建設、ローバー駆動部の設計などに必要となる。

本講演では、アポロ計画で月面において取得されたアクティブ地震探査データや、Insight計画で火星で取得されたデータの解析結果を紹介する。さらに将来の宇宙探査に向けた我々の取り組みを紹介する。

我々は、超小型震源装置1台と地震計1台を用いることで、アクティブ地震探査を実施するシステムを構築している。着陸船に地震計を設置し、その周辺で宇宙飛行士または自律型ローバーに搭載された小型震源装置からの振動を受信することで、表面波探査で深度10mまでの三次元地質構造を明らかにできる。さらにローバ2台に震源と地震計を搭載することで、反射法と屈折法地震探査で深度数100mまで探査できる自律型地震探査システムの開発を行っている。



都営地下鉄三田線千石駅下車A1出口より徒歩3分

日時 2025年12月2日（火）
15:00～16:30【14:30 開場】

場所 深田地質研究所 研修ホール
& オンライン (Zoomウェビナー)
※会場とオンラインのハイブリッド開催

定員 会場参加: 50名 (先着順)
オンライン参加: 450名

参加費 無料
※要事前申込

CPD単位 「深田研談話会」は、CPD履修実績として申請できます（1.5単位）

参加ご希望の方は、必ず事前に深田研ホームページよりお申込み下さい。

申込み期間：2025年10月29日（水）～ 11月28日（金）17:00（定員に達し次第締め切ります）

本イベントに関するお問い合わせ先: fgi_event@fgi.or.jp

公益財団法人 深田地質研究所

〒113-0021 東京都文京区本駒込2-13-12
TEL: 03-3944-8010 FAX: 03-3944-5404
<https://fukadaken.or.jp>

